

1 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また(7)～(10)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) ボールが転がる。
- (2) 寒い日が続く。
- (3) 歌を輪唱する。
- (4) 細密な計画
- (5) 魚を函う店。
- (6) 二つの役を兼ねる。
- (7) ヨウモウをついで糸にする。
- (8) ノーベル文学シヨウの候補者
- (9) 荷物をトドげる。
- (10) ケワしい山を登る。

2 次の文中の、「延期になったのは」と「降っていた」の関係は適切ではありません。適切な関係になるように、解答欄の「降っていた」のあとに、ひらがな三字を加えなさい。

イベントが延期になったのは、朝からたくさん雨が降っていた。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

(「ビッキオ」森の「いろいろな事情がありまして」による)

1 本文中のA～Cの――を付けた語のうち、一つだけ他と活用形の異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

2 冬の食べ物とあるが、本文中で筆者は、リスはどのようにすることで冬に食べ物を手に入れることができるかと述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入れるのに最も適しているひとつづきのことは、本文中から十七字で抜き出し、初めの四字を書きなさい。

リスは、秋に自分のなわばりに埋めておいた木の実を□ことで冬に食べ物を手に入れることができる。

3 本文中には次の一文が入る。入る場所として最も適しているものを本文中の□ア～□ウから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

この渋みがリスに、「この場では食べずにとっておきなよ」とそそのかしているかのようです。

4 土に埋められることとあるが、本文中で筆者は、ドングリにとって土に埋められることは、どのようなことだと述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことはを使って十文字以上十五字以内で書きなさい。

ドングリにとって土に埋められることは、動物に食べられることなく□ことだ。

5 次のうち、本文中の□③に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア まるで イ 決して ウ まさか

三 次の【本文】は、書物を読むことについて述べられた文章である。【本文】と、その内容についてのAさんとBさんとの【会話】を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

【会話】

Aさん 筆者は、書物を自分で読むには、まずはするところから終わりまで読み通すことが大事だと言っているね。

Bさん そうだね。でも、なぜそうすることが大事なのかな。

Aさん 筆者は、書物をするすると読み通すことで、書物にたくさんあたることができて、広く知識を得ることができると言っているよ。

Bさん なるほど、筆者は、書物の一部分について、よくよく理解して読み落とさないようにしようとする、と「道とぐること」、つまり□②「」は難しいとも言っているね。

Aさん 筆者はそのことを都へ行くこととする人に例えて説明しているね。都へ行くためには□③と言っているよ。

Bさん 筆者は、この例を通して、書物をするすると読み通すことで、物事に直面するときに思いあたるものが多くなる、ということを行っているんだね。

1 だとはばを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 次のうち、【会話】中の□②に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 書物の名前を覚えること
- イ 書物を読み通すこと
- ウ 書物をたくさん所有すること

3 次のうち、【会話】中の□③に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 通る予定がある場所をしっかりと理解し、里の位置を確認するとよい
- イ すべての道について十分に尋ね、海山の様子も覚えておくことよい
- ウ だいたいを見渡してどの辺りに松や河があるのかなどを見出しを付けることよい

四 次の文章は、大学の教授である筆者（私）と学生達が、大学の授業でトースターを分解しようとしている場面の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

〔佐藤雅彦「考えの整頓 ベンチの足」による〕

〔注〕 アドリブ Ⅱ ここでは、その場の思い付きでことばをしゃべること。

享受 Ⅱ 与えられた物事を受け取って、楽しむこと。

担保 Ⅱ 保証。

神妙 Ⅱ 素直でおとなしいさま。

1 本文中のA、Cの——を付けた「の」のうち、一つだけ他とはたらしきの異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

2 ① この食パンを焼いてみましょうとあるが、本文によると、筆者が食パンを用意したのは、学生達に何を見つけさせるためか。その内容についてまとめた次の文の□□に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から八字で抜き出さない。

トースターをやみくもに分解するのではなく、器具の役割を想像した上で、□□を見つけさせるため。

3 ② トースターのふるまいとあるが、本文中で筆者は、どのようなことを「トースターのふるまい」と表現しているか。次のうち、適切でないものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 脇の大きいレバーが押されると、スロットの中の食パンを下げっていくこと。

イ 食パンの両面を両脇から粗い金網のようなもので軽く押さえるということ。

ウ 表面はこんがりとしてサクツとしていたのに、中はしっとりしておいしいということ。

4 ③ 神妙な面持ちであったとあるが、本文中で筆者は、学生達が神妙な面持ちになったのはなぜだと述べているか。その内容についてまとめた次の文のa□□に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から九字で抜き出さない。また、b□□に入る内容を、本文中のことばを使って十五字以上、二十字以内で書きなさい。

学生達はトーストのおいしさは享受したのに、そのおいしさをa□□ トースターの技術に関しては考えようとしなかったが、筆者が投げかけた質問や仮説に沿って考え、中学の理科で習ったことを確認したこと、トーストのb□□から。

受験
番号

番

得点

—										
2	1									
降	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
っ					〔	〔	〔	〔	〔	〔
て										
い										
た	□ _{ケフ}	□ _{トド}	□ _{ショウ}	□ _{ヨウ}	兼	商	綿	輪	寒	転
	しい	ける		モウ	ねる	う	密	唱	い	がる
。										

12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	採点
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

四									
4				3	2	1			
b			a						
か		ト		ア				A	
ら		ー							
。		ス		イ				B	
		ト							
		の		ウ				C	

14	6	2	2	2	2	採点
----	---	---	---	---	---	----

三		
3	2	1
ア	ア	
イ	イ	
ウ	ウ	

7	3	2	2	採点
---	---	---	---	----

二					
5	4		3	2	1
ア	10		動物に食べられることなく		A
			ア		
イ			イ		B
ウ	15	ことだ。	ウ		C

12	2	4	2	2	2	採点
----	---	---	---	---	---	----